



車いす送り10台目

鳥茂渡小学校（荒谷栄子校長、児童10人）は12月9日、アルミ缶1,010*を換金して、村特別養護老人ホーム「うねとり荘」（斉藤正明施設長、入所者60人）に記念すべき10代目の車いすをプレゼントしました。

（写真）

車いすに座った金子ツヤさん（99・茂市）は「あ

りがとう」とお礼し、以前、同小のアルミ缶活動に協力していた割澤善治さん（75・萩牛）が、当時の活動のきっかけなどを懐かしそうに話していました。

平成7年、当時の6年生2人の呼び掛けで、始まったこの運動は、村内外に大きな輪となって広がり、毎年1台ペースで車いすをプレゼント。今年で活動も10年目となりました。



誇り胸に舞い納め

普代中学校神楽同好会（山本高会長 3年、会員23人）は1月11日、本年度の舞い納めを兼ね、村特別養護老人ホーム「うねとり荘」（斉藤正明施設長、入所者60人）で同愛好会が伝承している中野流鶺鴒七頭舞を披露しました。

鮮やかな衣装に身を包んだ生徒たちは、太鼓や笛、手平鉦に合わせ、躍動感あふれる舞いを約20分にわたり熱演しました。

（写真）入所者の佐々木トクエさん（95）は「とっても良かったよ」と終演後、生徒一人ひとりに声を掛けていました。

普代駅の出会い旅

NHK企画番組の「三陸鉄道出会い旅」の収録が1月16日、普代駅で行われました。

番組は、旅人役の俳優の太川陽介さんら3人が普代駅で下車し、おでんや普代村こんぶ鯉鈍、ドンコ汁などを紹介してもらい昼食をいただくという設定。駅食堂での撮影は午前11時ごろから始まり、上方テイさん（69・堀内）からこんぶ鯉鈍やドンコ汁の説明を受けながら、3人はおいしそうに食べていました。（写真）収録後、太川さんにこんぶ鯉鈍の感想を聞くと、「コシがあっていい、そしてスープがうまい、こだわりの味ですね」と絶賛していました。

